

平成27年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	大垣市	学校名	岐阜県立大垣桜高等学校		
校長名	渡辺美智子	対象学年	3年	人数	21人
活動名	地域の高齢者宅への配食サービス（ランチサービス） 地域における防災・減災活動	時間数	20時間	継続年数	29年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ⑤ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 6 その他（ ）				
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ・本校への委託元である社会福祉協議会との綿密な協議と連携を図った。 ・ランチサービスだけではなく、そのほかの地域行事へも積極的に参加することにより地域とのつながりを作り活動の円滑化を図った。 				
<p>1 ねらい ランチサービス（配食）により、地域の方との交流の場を作り、多世代とのコミュニケーションを図り、高齢者と触れ合うことによる思いやりの心を育成する。</p> <p>2 活動の概要 社会福祉協議会の委託を受け、年に2回（各回約20食）お弁当を作り、高齢者宅へ配食をする。</p> <p>①科目「課題研究」食生活コース選択者21人が、高齢者の身体的特徴や栄養・調理の配慮を学習したうえで、季節に合った献立の作成をする。試作を行い年2回の献立を決定する。</p> <p>②地域の食事ボランティアの方と共に調理を行う。</p> <p>③地域の福祉推進委員の方と共に高齢者宅へ配食する。</p> <p>④会話やアンケートから、反省をまとめ次回に生かす。</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <p>①調理時の交流 食事ボランティアの方と共に調理を行う際の会話から、調理のコツや、高齢者に合った調理法、地域の歴史や習慣などを教えていただくことができる。</p> <p>②配食時の交流 福祉推進委員の方と共に配食することで、地域の方との触れ合いが持て、配食先の高齢者の方とコミュニケーションをとることで、高齢者への思いやりの心を育むことができる。</p> <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等） 授業の一環でスタートする取組だが、取組を進めるにしたがって、高齢者の食生活にはどのようなことを配慮すべきかということ意識するようになった。また、配食当日は、調理時も配食時も食事ボランティアの方や福祉推進員の方と触れ合いながら行うことで、世代間を超えたコミュニケーション力の育成や、域社会人としての自覚を高めることができた。さらに、配食先の高齢者との触れ合いでは、高齢者の方から温かい言葉をいただくことが多く、地域社会の一員として活躍する豊かな心の育成を図ることができた。</p>					

